

令和4年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰

(1号事業/24,673千円)

- (1) 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰については、以下の9件の個人・団体(番組)に対して「第31回橋田賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各1,000千円の助成を実施した。また、本年度から野村昭子賞を新設し、正賞として時計、副賞として賞金1,000千円の助成を実施した。

橋田賞	「silent」	(フジテレビ)
橋田賞	「プレバト」	(毎日放送)
橋田賞	小池 栄子	(俳 優/こいけ えいこ)
橋田賞	長澤 まさみ	(俳 優/ながさわ まさみ)
橋田賞新人賞	目黒 蓮	(俳 優/めぐろ れん)
橋田賞新人賞	伊藤 沙莉	(俳 優/いとう さいり)
橋田賞新人賞	生方 美久	(脚本家/うぶかた みく)
橋田賞特別賞	草笛 光子	(俳 優/くさぶえ みつこ)
橋田賞特別賞	加山 雄三	(歌手・俳優/かやま ゆうぞう)
野村昭子賞	いまむら いづみ	(俳 優)

2. 脚本家、演出家、俳優等の人材育成(2号事業/5,191千円)

脚本家、演出家、俳優等の人材育成については、本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 令和4年度橋田賞新人脚本賞の公募

応募総数597篇で、シナリオセンターの一次審査の後、財団選考委員による審査の結果、該当入選作なし。

佳作の「ビリーヴ」長島清美氏に対し、賞金200千円の助成を実施した。

3. セミナーおよびシンポジウムの開催(3号事業/2,344千円)

本年度は以下のような事業を実施した

(1) 「オンラインセミナー」の開催

- ・令和4年9月3日、秋のオンラインセミナー「大ヒットドラマ『おしん』に見る橋田ドラマの手法」を小林綾子氏（俳優 おしんの少女時代を演じる）と小林千洋氏（元NHKドラマ番組部ディレクター 現在・世田谷パブリックシアター劇場部長）による「橋田脚本の魅力の秘密 ～演じる側と演出する側から」、金澤宏次氏（元NHKドラマ番組部長 現在・ユニオン映画会長）による「橋田ドラマの原風景」を開催し、その模様は後日ホームページ上でも掲載した。

- ・令和5年3月18日、春のオンラインセミナーを金澤宏次氏（橋田賞選考委員）

清弘誠氏（橋田賞選考委員）による「橋田賞新人脚本賞の選考を振り返って」、山本むつみ氏（脚本家。第28回橋田賞受賞。橋田賞選考委員に新任）による「これから脚本家をめざす人へ」を開催し、その模様は後日ホームページ上でも掲載した。

(2) ベテランアナウンサー山根基世氏（財団評議員）による橋田壽賀子作品の朗読を Podcast にて配信

- ・「渡る世間は鬼ばかり」第1シリーズの第2話から第4話までを配信中。

4. 顕彰対象作品の上映会の開催（4号事業／0円）

顕彰対象作品の上映会の開催については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え本年度も開催を見送った。